

西条昌良

NEWS
2009

西条昌良後援会

- 事務所 ● 神栖市土合北2-11-13
- TEL ● 0479(48)0073
- HP ● <http://www.saijomasayoshi.com/>
- 発行 ● 平成21年1月13日



明けましておめでとうございます。後援会の皆様には、輝かしい新春を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、米国の金融危機に端を発した未曾有の景気悪化は、地域経済をも巻き込み、雇用環境の不透明感が否めない状況です。茨城県政も財政再建・少子化対策・医師不足解消・地域格差の是正など、重要課題が山積しています。しかし、このような時にこそ、県議会は確かな将来展望と県政のあるべき姿を県民に示していくことが必要です。

私たちの鹿島地域では、「医療過疎の解消」「情報インフラ整備」「神栖市への警察署設置」「県際地域の医療・道路・災害体制づくり」などが地元の切実な願いとして上げられています。また、本年は世紀の大事業といわれた鹿島開発50周年となる節目の年でもあり、心あらたにこれらの課題解決に全力で取り組み、地域の皆様の視点に立った政策実現を図りながら、「躍進する中核都市・かみす」の目標に向かって進む1年にしたいと思います。

皆様方の更なるご支援を賜りますようお願いし、平成21年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心から祈念し新年の挨拶といたします。

平成20年 文教治安常任委員会 (質議抜粋)

茨城県内屈指の豊かな地域となった神栖市ですが、治安や交通事故は県内28警察署中ワーストスリーに入るなど不名誉な状況が続いています。神栖市への警察署誘致の声が高まる中、市民の声を県政に反映し神栖市に警察署を作って交通安全対策・治安対策をしっかりとやっていくよう求めました。

■西条県議
神栖市に警察署を設置していただきたいという陳情を平成19年2月に5万888名の署名をもつて提出した。犯罪が多発しているにもかかわらず警察署が設置されていない市は神栖市と守谷市。神栖市は人口1万人当たりの刑法犯認知件数が県内44市中2番目に多く、凶悪犯罪認知件数は1位。鹿嶋署の管轄区域は南北43キロと長いことから、早急に神栖市に警察署を新設して治安対策を講じる必要がある。

■西条県議
茨城県にとつても大変重要な、神栖市の産業コンビナートのセキュリティを高めるために、神栖市への警察署設置は必要である。県は当面の緊急対策として夜間における治安対策の強化、交番・駐在所の再編整備に取り組みとしているが、見解を伺う。

●山上警務部長
県警としては、神栖市への警察署新設について、検討する必要性があるという考え方を一切変えていない。実現に向けて検討を重ねるといのが県警の考え方。

■西条県議
非常に抽象的であり、具体的な一歩踏み込んだ答弁をお願いしたい。警察署の新設には財政の裏付けが不可欠であり、財政の検討経過について伺いたい。

●山上警務部長
今後の治安情勢・社会情勢の推移や県の財政事情などを考慮しつつ、実現に向けて検討を重ねる。

■西条県議
神栖市は日本有数の臨海工業地帯であり、外国の方も定住している。神栖市は全国

の中でも豊かな自治体に成長したが、その反面、治安や交通事故の悪化も指摘されている。地域の特殊性も踏まえて、さらに一歩踏み込んで警察署新設を進めていただきたい。

●山上警務部長
警察署の新設はおおむね人口10万人前後が一つの物差しになる。また、事件・事故・凶悪事件の発生件数などの警察事象、警備対象となる施設・行事を考慮する必要もある。二つ目は地理的条件であり、管轄区域の面積や地形。こういった条件を総合的に検討し判断することになる。

■西条県議
神栖市は警察事象、地理的条件、人口10万人前後という要件にも合致している。全体的な茨城県警のあり方を踏まえたうえで、いま一歩踏み込んでの警察署新設を計画に移すことはできないのか？

●山上警務部長
必要性が高いという判断は現在も同じであり、実現に向けて検討を重ねてまいりたい。検討をやめる、構想を撤回するという考えはない。

■西条県議
平成22年ごろには少なくとも協議に入らなければならないと思う。新たな第2次計画の時には、きちんと方向づけができるように努力していただきたい。

神栖市は地元を挙げて警察署新設を望んでおり、財政面でもできることは何でもしたいという意思を持つている。その思いから出てきたのがこの陳情。9万人の市で5万人以上の方が署名していることは、大多数が警察署設置を要望していることだと私は思う。

●山上警務部長
西条昌良県議からご指摘いただいた件、神栖市民の要望を十分に踏まえながら対応していくつもり。

■西条県議
茨城県の発展とは裏腹に、治安は乱れ、凶悪事件が発生し、交通事故も多くなっている。その典型が土浦の荒川沖事件。茨城県内の治安確保のためにも本県警察官をぜひ増員して欲しい。

警察職員数と一般行政職数の全国的な傾向はどのようになっているのか。

●山上警務部長
警察官1人当たりの人口負担は644名で全国ワースト7位。全国平均は511名で茨城県は133人上回っており負担が重い。警察官の増員は平成8年度から19年度までに880名の増員。

■西条県議
人口比率からいけばもっと多くてもいいと思う。なぜ茨城県は、人口比率で他の都道府県より警察官の数が少ないのか。

●山上警務部長
状況は改善した面もあるので、引き続き県警として県内の安全確保に取り組みしていきたい。

■西条県議
茨城県は治安が悪く多種多様の犯罪が起きている。何と言っても一番大事なこととは安心・安全、人間の命。ぜひとも警察官増員の努力をお願いしたい。

波崎高校に工業化学科設置決定！
特色ある魅力ある学校づくりはいかにあるべきかと持論を展開しました。

■西条県議
県立高校の再編整備の中に、波崎高校の改修設計があるが、具体的に何に使うのか？

●荻野谷財務課長
波崎高校では今度、工業化学科を設置する予定。実習室

波崎高校は133人上回っており負担が重い。警察官の増員は平成8年度から19年度までに880名の増員。

波崎高校は治安が悪く多種多様の犯罪が起きている。何と言っても一番大事なこととは安心・安全、人間の命。ぜひとも警察官増員の努力をお願いしたい。

波崎高校に工業化学科設置決定！
特色ある魅力ある学校づくりはいかにあるべきかと持論を展開しました。

波崎高校の改修設計があるが、具体的に何に使うのか？

波崎高校では今度、工業化学科を設置する予定。実習室

をつくるために、既存の実習室を改修する。20年度に改修のための設計を行い、工事費は21年度以降に予算措置する。

■西条県議

神栖東部工業団地の石油コンビナートの皆さんと共に陳情した結果、皆さんのお骨折りにより波崎高校に工業化学科ができることになった。卒業すれば企業側で就職を受け入れてくれる。受け入れ体制をしっかりと作っていくことが必要だが、どのようにになっているのか。

●後藤参事

福島・栃木・群馬・埼玉・千葉の5県。全日制普通科の場合には募集定員の30%以内で交流ができる。普通科以外は制限はない。

●後藤参事

この地域はコンビナート等最先端の工場群があり、地域の特徴を生かした実験のやり方も探っている。

■西条県議

神栖高校にはかつて国際科があった。臨海工業地帯に海外の人も来ることを想定した作ったものだが、定数割れとなり廃止された。

高校経営には地域の特色を出していくことが極めて大事だと思うが、どのように考えているのか。

●後藤参事

県立高校に今求められているのは、いかに魅力を出すか。神栖高校も今後、どういう方針でどうい魅力を地元

にアピールしていくかをきちんと出していく必要がある。

■西条県議

少子化問題の中で、小中学校と高校の統廃合が議論になつていますが、隣接県協定は県内のどの県境で結んでいいのか？その中身は？

●後藤参事

福島・栃木・群馬・埼玉・千葉の5県。全日制普通科の場合には募集定員の30%以内で交流ができる。普通科以外は制限はない。

財政再建等調査

特別委員会 意見書を提出

財政再建等調査特別委員会副委員長として審議を重ねてきた結果の意見書を関係機関に提出しました。

「真の地方分権の実現に向け真摯な取組みを求める意見書」

記

① 国から地方への基本原則どおりの権限移譲が達成されるよう、すべての関係省庁は真摯に取り組むとともに内閣総理大臣は強力なリーダーシップを発揮すること。

また、権限移譲にあたっては、必要となる財源移譲も一体的に進めること。

② 地方の弊害を重く受け止め、地方の財源不足に対応して、地方交付税総額を還元・充実すること。

あわせて、地方の安定的な行財政運営を確立するため地方消費税の充実等を通じて地方税減を強化すること。

③ 法人事業税の分割基準の見直し等により、地域間の税収格差の是正を図ること。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



トピックス

清真学園中学校の生徒に鹿島開発の歴史を語る

鹿島開発を推進した当時の岩上二郎茨城県知事の秘書として、開発の現場を見てきた西条県議は、次世代を担う清真学園の生徒を前に2日間にわたりその歴史を熱く語りました。



フラッシュ2008

写真で見る議員活動



▲茨城空港開港に向けてマレーシア航空に乗入れ要請▲



▲県内調査 中高一貫教育並木中等教育学校



▲自民党波崎中央支部 議事堂視察



▲県外調査 指宿市役所



▲県内調査 小美玉市立堅倉小学校



▲県内調査 警備機動隊



▲県内調査 水上警備艇「ときわ」

県議会議員選挙区変更のお知らせ

西条昌良後援会は「真の豊かさを感じられる郷土づくり」に全力を傾注する県議会議員・西条昌良を、これまで5期にわたり県政に送りだしてきました。この度、市町村合併に伴い来年から茨城県議会選挙区が変更になり神栖市単独で定数2名となりました。引き続き皆様方の温かい御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

